

## 「マレーシア総選挙結果」

～連立与党は下院の3分の2議席確保できず。

野党は5州において議席数で与党連合を上回る～

三菱東京UFJ銀行  
アジア法人業務部

3月8日実施されたマレーシアの下院総選挙と州議会選挙では野党が躍進した。

### (1) 下院総選挙結果

与党連合は、下院総選挙において憲法改正に必要な3分の2の議席数を確保できず、前回の獲得議席数198から140議席へと大幅に議席を減らした。

連立与党を構成する「統一マレー国民組織(UMNO)」、「マレーシア華人協会(MCA)」、「マレーシア・インド人会議(MIC)」の3政党の全ての議席が減少したのとは対照的に野党は「マレーシア・イスラム党(PAS)」、「民主行動党(DAP)」、「国民正義党(PKR)」が大幅に議席を増やした。(下表ご参照)

【マレーシア下院総選挙結果(2008年3月8日実施)】  
～与党から野党に票が流れた。連立与党の3政党は全て議席が減少～

政党名	支持基盤	今回結果(2008年3月)				前回結果(2004年3月)			
		前回獲得数	今回獲得数	構成比(%)	増減	解散前議席数	前回獲得数	構成比(%)	増減
与党連合、国民戦線(BN)		198	140	63.1	▲ 58	148	198	90.4	50
統一マレー国民組織(UMNO)	マレー系	109	79	35.6	▲ 30	72	109	49.8	37
マレーシア華人協会(MCA)	中国系	31	15	6.8	▲ 16	28	31	14.2	▲ 3
マレーシア・インド人会議(MIC)	インド系	9	3	1.4	▲ 6	7	9	4.1	2
その他の与党政党議席		49	43	19.4	▲ 6	41	49	22.4	8
野党連合		20	82	36.9	▼ 62	41	20	9.1	▲ 21
マレーシア・イスラム党(PAS)	マレー系	7	28	12.6	▲ 21	26	7	3.2	▲ 19
民主行動党(DAP)		12	23	10.4	▲ 11	10	12	5.5	2
国民正義党(PKR)	マレー系	1	31	14.0	▲ 30	5	1	0.5	▲ 4
マレーシア人民党		0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
その他野党		0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
総議席数		219	222	100.0	3	193	219	100.0	26

(出所)各種報道を基に三菱東京UFJ銀行アジア法人業務部作成

**(2) 州選挙結果**

州選挙においても野党が大幅に躍進した。野党は、選挙前に政権を獲得していたクランタン州に加え、クダ州、ペナン州において単一政党で与党連合の議席数を上回った。また、ペラ州、セランゴール州では野党の獲得議席の合計が与党連合を上回っている。

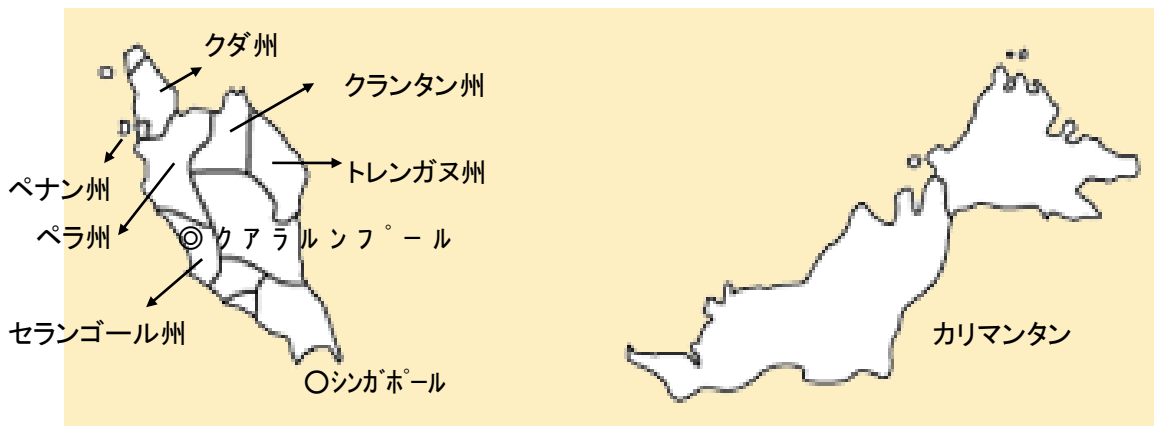
これまで、野党が強いエリアは、マレー半島東部のクランタン州、トレンガヌ州であった。今回、与党連合はトレンガヌ州では勝利したものの、マレー半島北西部のクダ州、ペナン州、セランゴール州における野党の勢力拡大を阻止できなかった。

【マレーシア州選挙結果(2008年3月8日実施)】  
～野党は5州において議席数で与党連合を上回った～

州名	今回結果(2008年3月)						前回結果(2004年3月)			
	総議席数	与党連合 国民戦線(BN)	野党合計	マレーシア・イスラム 党(PAS)	民主行動党 (DAP)	国民正義党 (PKR)	総議席数	与党連合 国民戦線(BN)	マレーシア・イスラム 党(PAS)	民主行動党 (DAP)
プルリス	15	14	1	1	0	0	15	14	1	0
クダ	36	14	21	16	1	4	36	31	5	0
ペナン	40	11	29	1	19	9	40	38	1	1
クランタン	45	6	39	38	0	1	45	21	24	0
トレンガヌ	32	24	8	8	0	0	32	28	3	0
ペラ	59	28	31	6	18	7	59	52	0	6
パハン	42	37	4	2	2	0	42	41	0	1
セランゴール	56	20	36	8	13	15	56	51	1	2
ヌグリスピラン	36	21	15	1	10	4	36	34	0	2
マラッカ	28	23	5	0	5	0	28	26	0	2
ジョホール	50	50	6	2	4	0	56	55	1	0
サバ	59	59	1	0	1	0	60	59	0	0

(出所)各種報道を基に三菱東京UFJ銀行アジア法人業務部作成

【州選挙において野党が過半数を制した州の位置】



### (3) 今後の展開

連立与党が下院で過半数を確保しているため、国政レベルでは政策面で大きな変更はない見込み。但し、今回の選挙においては、ブミプトラ政策をはじめとする与党の政策運営について、より良い運用を求める声も出ていた。このため今後与党は所得格差の縮小をはじめとする政策において戦略立案を再検討する必要性が生じる可能性がある。

今回の選挙結果について、マハティール前首相はアブドラ首相の責任を指摘している。政権の体制建て直しについては今年後半に開催が予定される与党連合の中核政党である統一マレー国民組織 (UMNO) の総会において総括される見込み。

本選挙で躍進した野党国民正義党 (PKR) については、アンワル元副首相の政策の流れを受けているため、市場主義の政策運営を採用すると考えられる。このため、多くの州においては外資系企業の経営に影響するような政策変更はないと見られている。

(ご参考) マレーシア関連レポート:

「Area Report 13 マレーシア選挙結果

～与党連合勝利だが、2州は野党政権に。マレー系住民の支持政党に変化～ 1999年12月3日」

「Area Report 75 マレーシア総選挙結果

～与党連合圧勝。アブドラ首相の改革に期待集まる～ 2004年3月23日」

(本レポートに関するお問い合わせ先)

アジア法人業務部

北村広明

E-mail: [hiroaki.kitamura@sg.mufg.jp](mailto:hiroaki.kitamura@sg.mufg.jp)

TEL: (シンガポール)65-6231786

宮崎 治

E-mail: [miyazaki@sg.mufg.jp](mailto:miyazaki@sg.mufg.jp)

TEL: (シンガポール)65-6231793

※本レポートは情報の提供を目的に作成しておりますが、お取引の最終判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。資料は信頼できると思われるソースを基に作成しておりますが完全性を保証するものではありません。